

警察庁のまとめによると、令和元年中に交通事故で亡くなった高齢者は1782人で、死者数全体の55・4%を占めました。歩行中の死者数は高齢者が全体の約7割を数えました。

自動車と高齢歩行者との死

亡事故の大半は、道路の横断中に発生しています。そして年齢が高いほど死者数が多くなっています。

高齢者が交通事故に遭わないためには、①横断歩道以外の場所や

高齢者の交通事故防止

車の通行の直前直後は横断しない。
②高齢者自身が、運動能力や身体機能の低下を認識する。③車両の運転者は、高齢者に気付いたときは動向に注意する——などです。

家族や地域コミュニティが連携して、高齢者に交通安全教育を受けてもらうことも有効です。高齢者が交通事故に遭わないように、あらゆる対策をしましょう。



交通安全三日月